



平成22年5月期 第3四半期決算短信

平成22年4月12日

上場取引所 東

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社
 コード番号 2459 URL <http://www.auncon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成22年4月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 信太 明
 (氏名) 坂田 崇典

TEL 03-5803-2727

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第3四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成22年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第3四半期	2,034	△35.0	△140	—	△140	—	△163	—
21年5月期第3四半期	3,132	—	122	—	124	—	72	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第3四半期	△2,251.07	—
21年5月期第3四半期	1,009.78	968.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第3四半期	1,636	1,211	74.0	16,705.81
21年5月期	1,825	1,410	76.8	19,363.35

(参考) 自己資本 22年5月期第3四半期 1,209百万円 21年5月期 1,402百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	0.00	—	400.00	400.00
22年5月期	—	0.00	—	—	—
22年5月期 (予想)	—	—	—	300.00	300.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,712	△28.5	△189	—	△190	—	△240	—	△3,324.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年5月期第3四半期 72,428株 21年5月期 72,428株
- ② 期末自己株式数 22年5月期第3四半期 一株 21年5月期 一株
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年5月期第3四半期 72,428株 21年5月期第3四半期 72,134株

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の実績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。なお、上記予想に関する事項は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年6月1日～平成22年2月28日）におけるわが国経済は、景況感に一部回復の兆しが見られるものの、依然として企業収益の悪化、個人所得の減少など、引き続き厳しい状況が続いております。そのため、多くの企業においては、広告宣伝費等を抑制する傾向が継続しております。

当社グループを取り巻くインターネット広告市場は、引き続き成長は続けているものの、従来よりもその速度はゆるやかになってきております。

このような中、当社グループは事業構造の転換を最も重要な経営課題と認識し、当第3四半期連結累計期間においても、引き続き積極的な取り組みを実施してまいりました。

検索エンジンマーケティング（SEM）によるコンサルティングサービスにおいては、平成21年12月よりiPhone向けプロモーション支援サービスを開始し、従来からのサービスに加えサービスラインナップの拡充に努めてまいりました。

多言語サービスにおいては、中国富裕層マーケティング調査サービスを平成21年12月に共同で開発し、中国進出企業のマーケティング支援も開始いたしました。多言語でのSEM、クリエイティブに加え新たなサービスの提供が可能となりました。

また、訪日・在日外国人向け総合情報サイト「Visit First（ビジットファースト）」では平成21年9月に英語による日本情報サイトを正式オープンしました。さらに、12月には日本語によるタイ情報サイトをオープンし、サイト訪問者を獲得すべく、コンテンツ拡充に努めております。

翻訳事業に関しては販売促進としてのキャンペーン実施により取引企業数も堅調に推移してまいりました。

さらに、当社グループの提供するサービスの付加価値向上と事業における効率性追求のため、子会社であるアウン沖縄ラボラトリーズ株式会社およびAUN Thai Laboratories Co., Ltd.の機能も引き続き拡充してまいりました。

両社の生産性向上および品質向上を促進し、収益体制強化が実現することにより価格競争激化に対する体制が強化されました。

上記のような取り組みを行ったものの、主要クライアントの受注減少を補えず、引き続き損益状況に影響を与えることとなりました。

また、当社の個別財務諸表上、子会社株式（アウングローバルマーケティング株式会社）の減損処理を行ったことに伴い、同社に係るのれんを一括償却し減損損失を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は2,034百万円（前年同期比35.0%減）、営業損失は140百万円（前年同期は営業利益122百万円）、経常損失は140百万円（前年同期は経常利益124百万円）、特別損益の部におきましては、特別損失として減損損失など57百万円計上しましたので、四半期純損失は163百万円（前年同期は四半期純利益72百万円）となりました。事業の種類別セグメントの業績は次の通りです。

<SEM事業>

クライアントニーズに適した付加価値の高いサービスラインナップの拡充を図ってまいりました。主力商品である検索エンジン最適化（SEO）は、PCおよびモバイルにおいて、クライアントニーズの変化に迅速に対応することで、受注を獲得してまいりました。

検索連動型広告・コンテンツ連動型広告（P4P）については、クライアントの広告宣伝費抑制の傾向はあるものの、わずかながらも伸びを維持しました。また、平成21年11月に業務提携契約を締結したAsiaPac Net Media Ltd.と引き続き連携を図り、新たな市場の開拓を進めております。

さらに、アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社およびAUN Thai Laboratories Co., Ltd.の安定稼働を進め、日本語のみならず多言語での業務品質の向上とコスト構造の転換を引き続き進めてまいりました。当社グループ内の相乗効果を高めた収益改善策を推進してまいりましたが、事業構造の転換を推進している状況において、主要クライアントからの売上高の減少を補うには至らないため、当事業の売上高は1,819百万円（前年同期比35.5%減）、営業損失は61百万円（前年同期は営業利益131百万円）となりました。

<クリエイティブ事業>

当社グループの強みである英語・中国語・日本語など多言語によるWebサイト制作やカタログなどのグラフィック制作において、高品質なサービスを提供してまいりました。また、クリエイティブ事業においても、SEM事業と同様にアウン沖縄ラボラトリーズ株式会社およびAUN Thai Laboratories Co., Ltd.との連携を進め、効率的に制作する体制を整備してまいりました。また、ネイティブライターによるコピーライティングと翻訳事業の相乗効果も現れ、オペレーション体制の効率化が進展しております。

しかしながら、前期比において回復傾向にあるものの、大手クライアントの広告宣伝費抑制の影響を受け、キャンペーンの規模が縮小したため、当事業の売上高は235百万円（前年同期比26.7%減）、営業損失は78百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.6%減少し、1,332百万円となりました。これは、主に配当金の支払や借入金の返済による現預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて20.8%減少し、303百万円となりました。これは、主にのれんの減損による無形固定資産の減少によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.7%増加し、401百万円となりました。これは、主に買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて43.9%減少し、23百万円となりました。これは、主に退職給付引当金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて14.2%減少し、1,211百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の期末残高は906百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、102百万円（前年同期比69.1%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失114百万円、のれん償却費39百万円、減損損失37百万円、売上債権の減少27百万円、法人税等の還付額107百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、70百万円（前年同期比4.7%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出34百万円、投資有価証券の取得による支出10百万円、敷金保証金の支払による支出61百万円、敷金保証金の返還による収入37百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、73百万円（前年同期比4.1%増）となりました。これは主に、短期借入金の返済による減少40百万円、配当金の支払28百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成22年4月8日付「特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました通り、通期の業績予想の修正を行っております。

今後も損益状況の回復に向け、高い利益率を確保できる強固な経営基盤を構築すべく、全社一丸となって取り組んでまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	923,695	966,192
受取手形及び売掛金	359,174	332,018
仕掛品	14,441	10,422
未収還付法人税等	—	104,016
未収入金	22,707	—
繰延税金資産	3,269	66
その他	14,909	34,459
貸倒引当金	△5,541	△5,291
流動資産合計	1,332,657	1,441,884
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,392	13,314
減価償却累計額	△2,459	△7,491
建物（純額）	15,932	5,822
工具、器具及び備品	48,906	38,218
減価償却累計額	△28,344	△29,214
工具、器具及び備品（純額）	20,562	9,004
有形固定資産合計	36,494	14,827
無形固定資産		
のれん	91,657	168,754
ソフトウェア	35,321	41,021
その他	2,793	2,146
無形固定資産合計	129,772	211,922
投資その他の資産		
投資有価証券	53,366	47,752
敷金及び保証金	79,522	43,382
繰延税金資産	1,089	62,755
その他	3,376	2,854
投資その他の資産合計	137,355	156,744
固定資産合計	303,623	383,493
資産合計	1,636,281	1,825,378

アウンコンサルティング(株)(2459)
平成22年5月期 第3四半期決算短信

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	259,921	182,738
短期借入金	—	40,000
1年内返済予定の長期借入金	3,000	5,351
未払費用	51,703	55,946
未払法人税等	120	1,558
未払消費税等	3,872	17,768
前受金	34,501	17,487
受注損失引当金	587	306
繰延税金負債	58	2,752
その他	48,158	49,228
流動負債合計	401,923	373,136
固定負債		
長期借入金	3,250	5,500
退職給付引当金	13,652	23,724
その他	6,325	12,200
固定負債合計	23,227	41,424
負債合計	425,151	414,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	339,576	339,576
資本剰余金	470,576	470,576
利益剰余金	401,676	593,688
株主資本合計	1,211,828	1,403,840
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,467	△421
為替換算調整勘定	△392	△970
評価・換算差額等合計	△1,860	△1,391
少数株主持分	1,161	8,367
純資産合計	1,211,129	1,410,816
負債純資産合計	1,636,281	1,825,378

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)
売上高	3,132,370	2,034,881
売上原価	2,418,015	1,620,285
売上総利益	714,354	414,595
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	※1 591,666	※1 554,957
営業利益又は営業損失(△)	122,688	△140,362
営業外収益		
受取利息	1,556	591
還付加算金	—	3,120
補償金収入	2,380	—
未利用チケット収入	—	1,134
その他	4,875	654
営業外収益合計	8,812	5,499
営業外費用		
支払利息	699	1,677
為替差損	5,854	644
投資有価証券評価損	—	2,578
その他	572	598
営業外費用合計	7,126	5,498
経常利益又は経常損失(△)	124,374	△140,361
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,380	325
賞与引当金戻入額	3,459	—
移転補償金	—	82,551
特別利益合計	6,840	82,876
特別損失		
投資有価証券評価損	577	—
固定資産除却損	81	549
事務所移転費用	—	18,867
減損損失	—	※2 37,894
特別損失合計	659	57,312
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	130,555	△114,796
法人税、住民税及び事業税	42,307	290
法人税等調整額	13,673	55,768
法人税等合計	55,980	56,059
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,734	△7,815
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,839	△163,040

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	130,555	△114,796
減価償却費	24,197	16,283
のれん償却額	136,875	39,202
減損損失	—	37,894
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,380	250
退職給付引当金の増減額(△は減少)	643	△10,072
受注損失引当金の増減額(△は減少)	787	281
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,091	—
投資有価証券評価損益(△は益)	577	2,578
受取利息及び受取配当金	△1,564	△591
支払利息	699	1,677
移転補償金	—	△82,551
固定資産除却損	81	5,731
売上債権の増減額(△は増加)	459,518	△27,156
たな卸資産の増減額(△は増加)	13,130	△4,891
仕入債務の増減額(△は減少)	△199,606	77,183
その他	6,311	△10,692
小計	565,736	△69,667
移転補償金の受取額	—	82,551
利息及び配当金の受取額	1,564	591
利息の支払額	△647	△1,675
法人税等の支払額	△233,944	△17,033
法人税等の還付額	—	107,938
営業活動によるキャッシュ・フロー	332,709	102,704
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,663	△1,300
定期預金の払戻による収入	4,817	2,502
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
投資有価証券の売却による収入	—	600
有形固定資産の取得による支出	—	△34,803
無形固定資産の取得による支出	△17,116	△3,827
子会社株式の取得による支出	△64,317	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△61,679
敷金及び保証金の回収による収入	—	37,597
その他	3,897	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,383	△70,909

アウンコンサルティング(株)(2459)
平成22年5月期 第3四半期決算短信

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,000	△40,000
長期借入金の返済による支出	△4,664	△4,601
株式の発行による収入	572	—
リース債務の返済による支出	—	△571
配当金の支払額	△70,654	△28,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,746	△73,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	△807	1,186
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	186,772	△40,694
現金及び現金同等物の期首残高	814,752	947,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	※¹ 1,001,524	※¹ 906,419

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日）

	SEM事業 (千円)	クリエイティブ事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,813,793	318,576	3,132,370	—	3,132,370
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,510	2,271	7,781	7,781	—
計	2,819,304	320,848	3,140,152	7,781	3,132,370
営業利益	131,800	△7,847	123,952	1,264	122,688

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主なサービス

(1) SEM事業・・・SEO、P4P、その他

(2) クリエイティブ事業・・・Webサイト制作、紙媒体制作

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日）

	SEM事業 (千円)	クリエイティブ事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,807,637	227,243	2,034,881	—	2,034,881
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,843	8,064	19,908	19,908	—
計	1,819,480	235,308	2,054,789	19,908	2,034,881
営業損失(△)	△61,569	△78,936	△140,505	△143	△140,362

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主なサービス

(1) SEM事業・・・SEO、P4P、その他

(2) クリエイティブ事業・・・Webサイト制作、紙媒体制作

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
SEM事業	1,273,818	△35.5
クリエイティブ事業	-	-
合計	1,273,818	△35.5

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
SEM事業	-	-	-	-
クリエイティブ事業	239,186	△8.1	51,931	△6.7
合計	239,186	△8.1	51,931	△6.7

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
SEM事業	1,807,637	△35.8
クリエイティブ事業	227,243	△28.7
合計	2,034,881	△35.0

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。